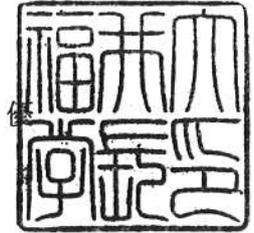


福井大経第 4号  
平成23年6月13日

福島県知事

佐藤 雄平 殿

国立大学法人福井大学長  
福田



福井大学が行う貴県への復興支援について（ご報告）

謹啓 このたびの被災につきましては、衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、先般、本学の調査団が、今後の被災地復興支援の検討等を目的に福島県内で調査活動を行った際には、ご多用中にもかかわらずご対応いただき、ありがとうございました。お陰をもちまして、無事、当初の目的を達成することができました。

帰学後、各調査者の調査結果、見解等を踏まえ学内で検討しました結果、別紙のとおり、貴県への復興支援に係る本学の対応方針を決定しましたのでご報告いたします。

今後は、この対応方針に基づき、微力ながらお役に立ちたいと願っており、特に原子力関連については貴県の求めに応じて可能な範囲で支援させていただきたいと考えておりますので、ご要望等があれば下記担当までご連絡いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、1日も早い復興を心よりお祈りいたします。

謹言

本件担当

総合戦略部門経営戦略課（窪田，中川）

電話：0776-27-8056（直通）

FAX：0776-27-8518

E-mail：s-keiei@ad.u-fukui.ac.jp

## 福島県への支援について

区分	大学の対応方針
原子力関連	長期的なスパンにおいて、内容に応じて専門分野から助言する。相談内容によっては、可能な範囲で専門家を派遣する。
放射線計測関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省要請によるスクリーニング業務支援へ参加する。</li> <li>・放射線土壌汚染調査へ参加する。</li> </ul>
医療関連	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 現在、既に行っている活動を継続する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時帰宅する避難者に対するサーベイチームの派遣</li> <li>・ 救急部医師による原子力発電所作業現場での救護活動</li> </ul> </li> <li>② 福島第一原発事故の収束には、なお長期に亘ると予想される。「緊急被ばく医療に強い人材」を育成し、被ばく医療に関して長期にわたる貢献を行う。</li> <li>③ 仮設住宅における慢性期の看護・福祉支援</li> </ol>
被災者へのメンタルヘルス・教育関連	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 福島県立医科大学・心のケア・チームの一員として相馬地区メンタルヘルスの直接支援（第1回目として7月12～7月17日予定）。</li> <li>② 相馬市の状況を見ながら、相馬市の市役所職員・消防・学校教職員のメンタルヘルスの調査と予防・回復支援を検討予定。</li> </ol>